

令和2年度 指定管理者モニタリング評価結果報告書

【令和2年度】

施設概要	名 称	①福間体育センター
		②津屋崎体育センター
		③福間武道館
		④津屋崎武道館
	所 在 地	①福津市西福間2丁目9番1号
		②福津市津屋崎1丁目5番1号
		③福津市西福間1丁目3番1号
④福津市津屋崎1丁目5番16号		
設置条例	①・②福津市体育施設条例、福津市体育施設条例施行規則	
	③・④福津市武道館条例、福津市武道館条例施行規則	
指定管理者	名 称	NPO法人スポーツニュースター
	代表者	理事長 沖 祐一
	所 在 地	福津市津屋崎1丁目36番23号
	指定期間	平成30年4月1日 ～ 令和5年3月31日
所 管	部課名	福津市教育部郷育推進課スポーツ文化振興係
	評価期間	令和2年4月1日 ～ 令和3年3月31日

◎モニタリング項目別の総合評価コメント

I 業務運営状況(運営状況・利用状況・収支状況)

【運営状況】

コロナ禍での全館臨時休館(4、5月)と時短開館(1～3月)が影響し、開館日数と利用者総数及び利用料収入が減少している。開館時には、感染対策として、こまめな衛生管理と館内の空調管理を講じることで、感染者の発生を防ぐ運営を行っている。

また、スタッフの接遇研修や緊急時対応マニュアルの作成などを行い、利用者に対する窓口サービスの向上を図っている。

自主事業として、貸しロッカーの設置のほか、九州プロレス福津大会、福津ジュニアボクシング大会を開催し、多くの参加者、利用者を獲得している。

【利用状況】

利用者数はコロナ禍での臨時休館等の影響が大きく、前年実績87,466人の約23.4%減であった。また、臨時休館等による影響以外にも、感染防止の観点による大会の開催中止や定期利用団体の利用頻度の減少、高齢化に伴う定期利用団体の解散・縮小なども見られた。しかし、新たに家族や小グループでの利用登録や短時間での利用が増加したことが特徴的であった。

【収支状況】

収支においてもコロナ禍での臨時休館等の影響から、利用料金収入実績が前年実績5,361,260円の約7.7%減となったが、単年度での黒字化を果たしている。

Ⅱ 業務履行状況(基本的事項・執行体制・個人情報保護・緊急時対策等)

【基本的事項】

窓口、電話受付時に具体的に分かりやすく対応、説明することを実践している。

【執行体制】

計画に沿ったスタッフ配置の実行と労働環境の整備、定期的な研修とミーティングを通じて、スタッフの健康管理、安全管理を行い、常に良好な体制を整えている。

【緊急時対策】

年2回の消防点検、福津消防署の職員による救急救命講習を実施しており、緊急時における対応に備えている。また、夏期の熱中症対策のため、冷凍庫や保冷剤の確保を進めている。

Ⅲ 維持管理状況(施設設備の保守点検・備品管理・清掃・警備等)

利用者の安全を第一に考慮した設備点検を行っている。施設設備の保守点検業務のうち、専門性の高いもの、法令で定められたものについては、専門業者に委託し、適切に実行している。また、スタッフの日常業務の中で備品等の点検を実施し、安全使用に心掛けている。

Ⅳ サービス向上への取組状況(運営全般・利用者サービスへの取組)

年度当初に定期利用団体の申請を受け付けることで、市内団体及び市民優先の登録を実施している。また、様々な意見を直接伺うことで、利用しやすい環境を作り出している。

◎モニタリング全般の総合評価コメント

◆ 総合評価コメント

市民優先の施設を目標に掲げ、施設のPRや利用促進を中心にベースである維持管理を着実にこなし、特色ある社会体育施設づくりへの取組みを実践している。市民を構成母体としている「定期利用団体」から定期的なアンケートで意見を集約し、ともに管理に関する理解を深めることを意識して対応することで、昨年度よりも利用者の満足度が向上している。

◆ 今後の業務改善への考え方

施設の老朽化に伴う維持管理面での労力が今後増大していくものと思われるが、市と連携しながら、他の施設管理でのノウハウを最大限発揮して、ハードとソフトの効率よい組み合わせにより、より良い社会体育施設となることを期待する。

第5 指定管理者モニタリングチェックシート

【令和2年度】

施設概要	名称	①福間体育センター ②津屋崎体育センター ③福間武道館 ④津屋崎武道館
	所在地	①福津市西福間2丁目9番1号 ②福津市津屋崎1丁目5番1号 ③福津市西福間1丁目3番1号 ④福津市津屋崎1丁目5番16号
	設置条例	①・②福津市体育施設条例、福津市体育施設条例施行規則 ③・④福津市武道館条例、福津市武道館条例施行規則
指定管理者	名称	NPO法人スポーツニュースター
	代表者	理事長 沖 祐一
	所在地	福津市津屋崎1丁目36番23号
所 管	指定期間	平成30年4月1日 ~ 令和5年3月31日
	部課名 評価期間	福津市教育部郷育推進課スポーツ文化振興係 令和2年4月1日 ~ 令和3年3月31日

I 業務運営状況に対するチェック

(チェックシート①)

I - 1. 運営状況

評価項目	事業計画(目標)	事業実績	コメント
開館(開場)日数	①330②330③356④356	①317②317③332④332	
開館(開場)時間	①3,993②3,993③4,576④2,194	①3,243②3,237③3,709④1,677	
自主事業開催数	3 回	4 回	

I - 2. 利用状況

評価項目	事業計画(目標)	事業実績	コメント(計画との比較)
延べ利用者数	①	36,500 人	30,065 人 82.4%
	②	21,000 人	26,834 人 127.8%
	③	12,000 人	5,482 人 45.7%
	④	6,000 人	4,619 人 77.0%
	計	75,500 人	67,000 人 88.7%
事業参加者数	-	-	-
稼働率(平均)	①	60 %	85.9 % 143.2%
	②	60 %	79.4 % 132.3%
	③	20 %	18.6 % 93.0%
	④	20 %	34.6 % 173.0%

I-3. 収支状況

評価項目	事業計画(目標)	事業実績	コメント(計画との比較)	
利用料金収入	①	2,300,000 円	2,919,010 円	126.9%
	②	1,500,000 円	1,824,820 円	121.7%
	③	150,000 円	142,010 円	94.7%
	④	50,000 円	62,570 円	125.1%
	計	4,000,000 円	4,948,410 円	123.7%
自主事業収入	自販機収入	350,000 円	298,002 円	85.1%
	自主事業	250,000 円	171,600 円	68.6%
	計	600,000 円	469,602 円	78.3%
その他収入	自販機収入外	146,000 円	248,491 円	170.2%
	計	146,000 円	248,491 円	170.2%
指定管理料	7,690,000 円	7,944,200 円	103.3%	
収入合計	12,436,000 円	13,610,703 円	109.4%	
人件費	7,458,000 円	7,225,847 円	96.9%	
修繕費	500,000 円	189,837 円	38.0%	
運営事業費	4,078,000 円	5,663,696 円	138.9%	
自主事業支出	400,000 円	424,020 円	106.0%	
支出合計	12,436,000 円	13,503,400 円	108.6%	
収支差引	0 円	107,303 円		

I 業務運営状況の総合評価コメント

【運営状況】

コロナ禍での全館臨時休館(4、5月)と時短開館(1~3月)が影響し、開館日数と利用者総数及び利用料金収入が減少している。開館時には、感染対策として、こまめな衛生管理と館内の空調管理を講じることで、感染者の発生を防ぐ運営を行っている。また、スタッフの接遇研修や緊急時対応マニュアルの作成などを行い、利用者に対する窓口サービスの向上を図っている。自主事業として、貸しロッカーの設置のほか、九州プロレス福津大会、福津ジュニアボクシング大会を開催し、多くの参加者、利用者を獲得している。

【利用状況】

利用者数はコロナ禍での臨時休館等の影響が大きく、前年実績87,466人の約23.4%減であった。また、臨時休館等による影響以外にも、感染防止の観点による大会の開催中止や定期利用団体の利用頻度の減少、高齢化に伴う定期利用団体の解散・縮小なども見られた。しかし、新たに家族や小グループでの利用登録や短時間での利用が増加したことが特徴的であった。

【収支状況】

収支においてもコロナ禍での臨時休館等の影響から、利用料金収入実績が前年実績5,361,260円の約7.7%減となったが、単年度での黒字化を果たしている。